

広報

ただみ

5

2014 月号

No. 528

平成26年5月10日

今月の表紙

4月7日の朝日小学校入学式。1年生はたくさんの上級生に迎えられ緊張した様子でしたが、これから始まる学校生活を楽しみにしているのか嬉しそうな表情も見せてくれました。
【関連記事4～5ページ】

小規模特別

養護老人ホームを建設します・・・2～3

小・中学校入学おめでとう・・・4～5

山村留学生13期生対面式 他・・・6～7

町の話・・・8～9

平成26年度整備

小規模特別養護老人ホーム

平成27年度開所



小規模特養は

「自分らしい暮らし」が出来る施設です

今年度、只見町長浜地内に小規模特別養護老人ホームの整備を予定しています。この施設は現在、町内で只見ホームを開設している社会福祉法人南会津会が只見ホームのサテライト施設（只見ホームと密接な連携を確保しつつ、別の場所で運営される施設）として運営を行い、只見町は整備

小規模特別養護老人ホームとは

入所定員が29人以下と小規模な施設で、入居者は自宅と同じような環境で生活する事ができ、家庭的で親密なサービスを受ける事が期待出来る施設です。



▲完成予想図



▲建設予定地（建設される場所は只見ホームの隣、南会津広域消防署只見出張所の正面側となります。）

に係る経費の負担・補助を行います。

施設は3つのユニット（10人以下の少人数グループがひとつの生活単位に区分けされたもの）で構成され合計29床となり、それぞれのユニットには

個人用の居室と、食堂やお風呂などの共同生活室が整備されます。入居される方全員に個室空間が用意されるので、プライバシーが確保され、自宅と変わらない自分らしい暮らしを送ることが出来ます。ま

た、個室のため家族も気兼ねなく施設を訪問することが出来ます。

今後の予定としては、今年度中に建設工事など整備を進め、平成27年度からの開所を目指しています。

また、施設の開所に伴い、この施設で働く職員の募集も今後行う予定です。職員募集は雇用形態などが決まり次第、町の広報誌やおしらせばんなどでも周知をさせて頂きま



ありがとうございます



40名の児童・生徒が新1年生として学校生活をスタートさせました。
 いますが楽しい学校生活を送っているのではないのでしょうか。





明和小学校11名

ご入学おめでとう

今年度、只見町では只見・朝日・明和の3校の小学校で29名、只見中学校で4月7日にそれぞれの学校で入学式が行われ、新入学生は不安もあると思
平成26年度の各校の新入学生を写真で皆さんにご紹介します。



只見中学校40名

第13期生 15名

山村留学生対面式



▲これから3年間で只見で過ごす第13期生の皆さん

4月8日、只見振興センターで第13期生となる山村留学生対面式を行いました。

教育長はいさつで「皆

さんに期待したい事が2つあります。まず一つ目は、自分の夢を実現して欲しいという事。2つ目は只見

を『第2のふるさと』と思

つて、将来は只見の応援団になつて欲しいという事です。」と山村留学生に話し、来賓の方々からも歓迎の言葉が述べられました。

山村留学生の皆さんは自己紹介で、将来は警察官や保育士になりたいなど叶えたい夢を話してくれました。皆さんにはこの夢をぜひ只見で叶えて欲しいと思います。

町と行政区長の意見交換

平成26年度町政報告会



▲意見交換で発言される区長

4月24日、季の郷湯ら里で区長連絡協議会総会が行われ、終了後に平成26年度町政報告会を行いました。

目黒町長はいさつで「災害から脱却し、地域問題に力強く取り組んでいきたい。皆さんから意見を頂きそれを政策に活かしたい。」と述べ、その後、今年度の新規事業や協力事項について担当課長より説明を行いました。

説明後は、事業の取組み方や施設の安全対策についてなど様々な意見が区長の皆さんから寄せられ活発な意見交換が行われました。

滞納の無い町を目指して

平成26年度納税貯蓄組合連合会総会



▲今年度の事業計画や予算についても話し合われました

4月17日、朝日振興センターで平成26年度納税貯蓄組合連合会総会が開催されました。

関谷一会長はいさつで「4月から消費税も上がり、只見町のような高齢者社会では収納業務は大変だと思えますが、滞納の無い町を目指して頑張りましょう。」と述べられました。

今年度は役員の変更があり、新会長に小川の栗木豊さんが選任されました。



▲佐藤県知事へ目録を手渡す川原田会長(前列中央)

JR只見線復旧復興寄付金

三百八十万三千元を寄附

JR只見線の復旧に向け、只見町JR駅を支援する会で寄付金を募ったところ、町民の皆様はじめ事業所や町外の方など多くの方から寄付金を頂き総額三百八十万三千元となりました。

この寄付金は4月23日、只見町JR駅を支援する会の川原田会長、目黒町長などが福島県庁を訪れ、福島県只見線復旧復興基金へ寄附いたしました。

消防団長辞令交付

鈴木団長に



▲目黒町長より辞令を受ける鈴木団長

4月1日、只見町役場町長室で目黒町長から鈴木好行消防団長へ辞令が交付されました。

鈴木消防団長は、本年3月末で4年の任期を満了し、4月より2期目の消防団長を務められます。

鈴木団長は辞令を受け「引き続き町民の安全・安心の為に消防団業務に努めていきたい」と話されました。

春の消防団活動

自分達の町は自分達で守る



▲防火の大切さを教えました

只見町消防団は、春の火災予防期間にあわせ4月15日に防火パレードを実施しました。途中立ち寄った朝日保育所では、子ども達に消防署長、婦人消防隊長から火遊びをしないようにとお話をすると、子ども達は「火遊びは絶対しません」と大きな声で誓いました。



▲今後の活躍を期待します

4月17日には、新入団員訓練が朝日振興センターで行われました。はじめに消防団の概要などについての勉強を行い、その後は敬礼や行進など基礎的な規律訓練を実施しました。参加した13名の新入団員は初めての訓練に戸惑いながらも真剣に取り組んでいました。



▲行儀良く先生や来賓の方のお話を聞く子ども達

3 入所・進級をみんなで祝い 保育所で入所式

町内の3保育所では4月5日に入所式が行われました。明和保育所では新たに9名のおともだちが入所し児童数は39名となりました。入所児童の紹介では担任の先生から名前を呼ばれるとみんな大きな声で元気よく返事をしていました。式の後には保育所職員がご飯のおかずをテーマにした寸劇を披露し親子で楽しみました。

今年度の児童数は只見保育所で34名、朝日保育所で28名となっております。

第13回 春待ち チャリティー演芸会

4月13日に季の郷湯ら里で、只見の春の恒例行事となっています春待ちチャリティー演芸会が行われました。演芸会の冒頭、社会福祉事業へ役立てて欲しいと出演者や来場者から寄せられた寄附金119,973円が目黒町長へ手渡されました。

演芸会には町内からの参加者だけでなく、近隣町村からも大勢参加され総勢60名、30の舞や踊りが披露されました。



1



2

1 会場はたくさんの観客で埋まり、次々に披露される華麗な舞に惜しみない拍手が送られました

2 目黒町長へ寄附金を手渡す演芸会事務局の赤塚ミワさん



▲ちょボラ参加者の印、オレンジ色のベストを着ての記念撮影

朝 自分達の町は自分達できれいに 日地区 ちょボラごみ拾い

4月20日、朝日振興センター・運営委員会などが主催したちょボラごみ拾いには約70名の方が参加され朝日地区の国道や県道沿いのごみ拾いを行いました。黒谷入地区などでは自主的に地区内の清掃作業を行われ、今回のちょボラごみ拾いで集めたごみの量は燃えるごみ袋で35袋、燃えないごみ袋で17袋となりました。

只見の美しい景観を損なわないようごみのポイ捨てはやめましょう。

ブナセンター講座 「八十里越の歴史」



3月23日(日)、飯塚 恒夫氏(只見町文化財調査委員)を講師としてお招きし、ブナセンター講座「八十里越の歴史」を開催しました。

飯塚氏はあいさつの中で、新聞に掲載された八十里越古道の起点である只見と若松をつないだ銀山街道の記事について触れられ、今回「八十里越」の話をするにあたり、「今の人がどれだけ古道について関心を持っているのかと思ったが、この記事でかつての街道を活用しようと古道について関心を持ち活動する人がいることがわかった」と話されました。

今回の講座は、「記録が語る会越の交流」と「八十里越の改修」の大きく分けて二つの内容でした。

会津と新潟を結ぶ八十里越には、叶津口留番所が置かれ、人や物の流通の取り締まりが行われた記録が残されています。記録からは、男子は商人や百姓などが多く、商いの他に収穫のため行き来していることがわかりました。婦女子は、日光へ参詣に行く者が多く、それに添男が1人か2人付くと説明がありました。しかし、相当なお金持ちでなければ日光へ参詣に行くことはなかったそうで、実際は身売りだったのではないかと思います。

物の流通では、主な産物として絹糸や真綿、からむし、ゼンマイなどを売って収入を得ていることがわかり、越後からは、木綿や装身具、鉄製の農具、魚介類(干物)や塩などを購入していた他、関東などからお茶や蚕種子(卵)などを買い付けていたようです。ここで面白いのが、只見地域は幕府の直轄地で若松預かりだったにもかかわらず、その流通のおよそ96%が越後との取引であり、若松城下とは全体の4%ほどの取引しか無かったことです。このことから「只見では三代遡れば越後とのつながりがある」と言うほど強い繋がりがあったということがわかります。

天明三年の大凶作の折には、米が留物とされましたが、こちらからの要請で越後より救援米が届けられました。宝暦五年の凶作では、熊倉の餓死者はほとんどいなかったため、越後から子どもを引き取って育てた記録も残されています。また、子どもがいない家や禿(つぶれ)屋敷が多かったため、只見の過疎対策に越後の人に養子に入ってもらったというお話もありました。

次に、天保14年の大改修(古道)、明治14年の新線開削(中道)、明治27年開削(新道)の3つの道についてお話がありました。

古道は、浅草岳登山道として現在も一部が利用されていますが、傾斜が急だったため、牛や馬が通れる道として天保14年に大改修が行われたそうです。この時、会津と越後側で人件費の分担を決め工事にあたったそうですが、越後側の大白川新田村分は、費用が出せないと訴えがあり、改修地が会津藩預り地であったため幕府直轄事業として会津藩が費用を負担する事となりました。

この改修によって、牛馬の通行が出来るようになりましたが、荷車が通る事が出来るようになったのは、明治27年の開削によってできた新道からだそうです。明治14年の改修でできた中道は、それほど広さが無い上、傾斜も強く用をなさなかったため新道が作られたそうです。

質疑応答では、「古道から新道までで現在通行可能な道があるか」、「資料に出てきた河井新道とは何か?」などの質問があげられました。八十里越の講座と言うことで、町内の方が多くみえられ、地元の歴史について理解を深められたようです。

広報ただみ診療所

朝日診療所

医師 若山 隆



「運動が脳を鍛える!」

みなさん、こんにちは。4月から朝日診療所の所長になりました若山です。只見で4回目の春を迎えますが、雪どけと共に心もウキウキしてくるのはいつも同じですね

さて、今日は運動の話をお願いします。運動は体に良いことは誰もが知っている事と思います。しかし、運動は脳にも良い事を知っている人は少ないのではないのでしょうか?実は運動には脳を再生させ、頭を良くする効果があるので

20世紀まで、脳は青年期に完成し、以後脳細胞は増殖することなく死んでいく一方だと思われていました。しかし、1998年、癌の治療研究のさなか、偶然に脳細胞が再生することが発見されました。以後、運動と脳に関する研究が活発化し、脳の再生に運動が深くかかわ

ていることが明らかになってきています。運動によって脳細胞のつながりが強化され、記憶力や判断力が良くなるのです。

1990年、アメリカのリノイ州ネーパールで、画期的な体育の授業が始まりました。それは、「スポーツ」(勝敗を争う)ではなく「フィットネス」を重視するというもので、生徒たちは「競技の上手さ」で評価されないのです。生徒たちには心拍計が用意され、「どれくらい目標の心拍数に到達していたか」で評価されます。苦しい時の心拍数はみんな同じです。マラソンが苦手な子が一生懸命走った場合、記録は遅いですが心拍数は非常に速くなります。努力の程度を心拍数で客観的に評価することで平等な評価につながり、生徒全員のやる気の向上につながりました。また、

朝、有酸素運動をしてから授業を受けるというコースをとった生徒は、17%も成績が向上したのに対し、このコースをとっていない生徒は10・7%しか伸びなかったという結果を踏まえ、「0時限」体育を導入しました。その結果、ネーパールでは肥満児の割合が10分の1になり、1999年の国際数学・理科教育動向調査(TIMSS)において理科が世界1位、数学が世界6位になったそうです。すごいですね!

若者だけでなく、運動は高齢者にも良い結果をもたらします。65歳以上の高齢者においても、身体活動量が多い人は、少ない人に比べ、認知症発症リスクが半分になっているそうです。

いまからでも遅くはありません。充実した人生のために、運動を始めませんか?

地域おこし協力隊として vol.1

地域おこし協力隊 末谷 広大

私が只見町の地域おこし協力隊として赴任し3か月が経ちましたが、まだまだ新しい環境に慣れず、職場の皆様にご迷惑ばかり。一般企業に5年ほど勤めていましたが、一から学ばなければならないことばかりで、教育委員会の「常識」を、自分の「常識」に落とし込むことに日々奮闘する毎日です。職務外活動では、少しでも只見町になじめるよう地域イベントへ積極的に参加するようしており、春から消防団にも入団しました。職務同様、これから微力ながら只見町に貢献したいと思っています。

現在は教育委員会に席を設けていただき、山村教育留学生に関係する事業に当たって

おります。また、奥会津学習センターで留学生とともに生活し、進路や学習、風紀の指導、心のケアなどを行っております。学習センターで過ごす生徒たちですが、部活や勉強に一生懸命に取り組んでいて、ほぼ毎日欠かさず行う筋トレ、学習室を使用して友人と勉強している姿勢に圧倒されます。

これから只見高校の良さを全国にPRし、全国に認知される「極上の山村教育」として展開していきたいと思っています。



▲消防団に入団しました

只見の歴史を探る①

六十里峠・八十里峠を越えた黒曜石

越えた黒曜石

▼今月号からは、只見の歴史エピソードをテーマに六回の連載がはじまります。

▼執筆は、只見町教育委員会で発掘や文化財を担当している渡部賢史さんです。

▼これまでに小林の七十苧遺跡や黒谷館遺跡などの発掘や文化財調査をしています。そのなかのとっておきの話を紹介させていただきます。



▲七十苧遺跡出土の黒曜石

只見町の遺跡からは黒曜石という硬くて黒色をした石が発掘されています。現在までに、大倉の窪田遺跡で二八点、小林の七十苧遺跡で一点、深沢遺跡周辺で二点、出土地不明一点、合計三二点の黒曜石の確認があります。年代は、およそ縄文時代の中頃（五千年前）から弥生時代の中頃まで（二千年前）のもので、黒曜石はガラス質でできており、割れると非常に切れやすいので、ヤジリ・ヤリ・ナイフといったものに使用されました。産出地は国内に数十か所ありますが、只見町では産出しないものです。

只見町で発見された黒曜石は、いったいどこから運ばれてきたものなのでしょうか。そこで明治大学黒曜石研究センターで分析をしていただきました。分析には、蛍光X線分析装置を使用します。黒曜石は、産出する場所によって含まれている鉄

町村	産地	西霧ヶ峰産 (長野県)	高原山産 (栃木県)	板山産 (新潟県)	和田峠産 (長野県)	不明	合計
只見町		20	7	3	0	2	32
南会津町田島		5	21	0	1	0	27
南会津町館岩		2	5	0	0	0	7
南会津町伊南			2	0	0	0	2
下郷町		1	14	0	0	0	15

▲南会津郡で出土した黒曜石の産出地一覧

や銅などの含有量が少いはず。その産出地の黒曜石と只見町で発見された黒曜石とを分析すれば、どこが産地なのかかわかります。分析の結果は、長野県（西霧ヶ峰系）二〇点、栃

うになつていきます。下郷町は一点中一四点が栃木県高原山産、一点が長野県西霧ヶ峰産、南会津町田島では二七点中二二点が栃木県高原山産、五点が長野県西霧ヶ峰産、一点が長野県和田峠産、南会津町伊南では二点発見されており栃木県高原山産のみ、南会津町館岩では七点中五点が栃木県高原山産で、二点が長野県西霧ヶ峰産でした（下郷町史第七巻）。



▲黒曜石の流通ルート

新発見された黒曜石の存在は、縄文・弥生時代に、現在と同じままではないにしても八十里越、六十里越を越える流通ルートがあったことを示すものです。

只見町で発見された黒曜石の存在は、縄文・弥生時代に、現在と同じままではないにしても八十里越、六十里越を越える流通ルートがあったことを示すものです。



町民文芸

只見短歌会

三月詠草

大塚栄一

指導

桐の木は駱駝色せる花の芽を高く掲げて冬を越しをり

小倉キミ子

雨風の中出づる兄が風温くなりしを言ひて暇乞ひなす

五十嵐夏美

夕餉あと卒業証書の貰ひ方習ふ女孫をわれも見守る

古川 英子

集落の空寺なれど涅槃会ねはんえの伝統守り祭事引き継ぐ

渡部ゆき子

伊勢参りいつか行かむと心して果たせし年に深く感謝す

関谷登美子

長生きはするものと言ひわが料理同居の老いら喜びて食む

新国由紀子

トタン屋根に音たてて降る雨寒く目覚めて春も近しと思ふ

馬場 八智

月移り行事書きおくカレンダー夫が切りしを拾ひ皺伸ばす

目黒 富子

暖かき日々の続けば草や木の芽吹くも突然の雪に覆はる

渡部ヨリ子

膝痛み再び手術を受けるとふ姉の気落ちをわが子労はる

新国 洋子

(出詠順)

只見俳句会

四月例会

目黒十一

指導

暖かや土曜の午後美容院
木の根明くまだ雪閉ざす山の家

敦子

地震の地に春の足音そつと寄る
黙禱の合掌長し春の雪

順子

夕空に風たちはじむ杉の花
語り継ぐ震災のこと水温む

信

麗らかや江の島に見る雪の富士
峠路や枝木の跳ねる残る雪

都

春の川片足安め鷺の立つ
カラフルな冬の帽子や通学路

又壺歩

春嵐誰も来ぬ日の戸のきしみ
春の夜の闇を揺らして地震来たる

洋子

冴返る朝の時報の音遠き
室に咲く花の純白山笑う

邦男

黙禱のサイレンの音小雪舞う
蛇行して幅広げ行く春の川

一穂

渾身の踏ん張る力仔馬立つ
残る雪グサと突き抜く水芭蕉

吉児

雪雲を放きたる月のしずかさよ
三月や稜線著し北五葉

礼

冬構解くやまんまる昼の月
般若会の風はかすかや雪解音

恒夫

サイレンに涙の浮ぶ震災忌
いつの間に眠りおりたり春炬燵

リウコ

残雪やいつか歩幅を大きくし
作付けの思案いそがす雪間かな

修一

曲りくる水のうねりの雪解沢
残月の赤々沈む斑雪山

十一

残雪の飯豊山を拝みけり
シクラメン兄弟多き頃をふと

邦夫

自動車税の納期限は 6月2日(月)です。

平成26年度自動車税の納期限は6月2日(月)です。お送りする納税通知書により、最寄りの金融機関、コンビニエンスストア等で納期限までに納付してください。

なお、自動車税の領収書には、車検時に必要となる継続検査用(車検用)納税証明書がついておりますので、車検証と一緒に保管しておいてください。

コンビニ納付のお知らせ

自動車税はコンビニエンスストアでも納めることができます。

専用のバーコードが印字されている納税通知書により夜間・休日問わず全国の店舗から納めて頂くことが可能です。

ご利用できるのは、原則として納期限までとなっております。

身体障がい者等のための減免制度のお知らせ

福島県では、身体等に障がいのある方のために使用される自動車で一定の要件に該当するもの(※)については、納税義務者の申請により自動車税を減免しています。減免の対象は、身体障害者手帳、療育手帳、精神障害者保健福祉手帳及び戦傷病者手帳の等級区分等により定められています。

平成26年3月31日までに身体障がい者手帳等の交付を受け要件に該当される方は、手帳等の関係書類を整えたうえで、納期限(平成26年6月2日(月))までに地方振興局県税部に申請してください。納期限を過ぎると、全額を減免することはできませんのでご注意ください。

なお、平成26年4月1日以降に手帳の交付を受け減免の要件に該当する場合にも、申請日に応じて月割により減免されます。

※ 減免の対象となる自動車は、4月1日午前0時現在の車検証に記載されている所有者(所有権留保の自動車については使用者)が障がい者ご本人である必要があります(18歳未満の身体障がい者、知的障がい者及び精神障がい者を除く)。

また、減免を受けられる自動車は、軽自動車も含め障がい者1人につき1台に限られています。

減免制度の詳細につきましては、地方振興局県税部へお問い合わせください。

福島県南会津地方振興局県税部
電話 0241-62-5212
0241-62-5214

お知らせ
今月の

Information

電話番号

総合政策課 地域振興係 財政係	☎82-5220
総務課 総務係 職員係	☎82-5210 ☎82-5050
町民生活課 税務係 町民係	☎82-5110 ☎82-5100
保健福祉課 保健係 福祉係	☎84-7005 ☎84-7010
農林振興課 農政係 林政係	☎82-5230
観光商工課 観光係 商工係	☎82-5240
環境整備課 地域整備係 生活環境係	☎82-5270 ☎82-5280
会計室 議会事務局	☎82-5120 ☎82-5300
農業委員会 教育委員会	☎82-5230 ☎82-5320
学校給食センター 只見保育所 朝日保育所 明和保育所 朝日診療所 (歯科)	☎84-7180 ☎82-2219 ☎84-2038 ☎86-2249 ☎84-2221 ☎84-2612
訪問看護ステーション	☎84-2130
こぶし苑	☎84-2101
只見振興センター 朝日振興センター 明和振興センター	☎82-2141 ☎84-2111 ☎86-2111

税
今月の納期

5月26日までに

納めましょう

● 軽自動車税(全期)

● 農集排使用料(5月分)

福島さわやか

行政相談キャンペーン

5月1日～5月31日

総務省では、只見町を担当する行政相談委員として次の方を委嘱しております。

行政相談委員は、総務大臣が委嘱するもので、国の仕事を始め、年金事務所などの特殊法人等の仕事についての苦情や意見・要望を受け付け、皆さんと関係行政機関等との間に立つて、その解決を促進するよう相談に応じます。

▽只見町の行政相談委員

菅家 三保子 さん

■只見字雨堤10542

☎ 822192

5月1日～31日までの1カ月間は「福島さわやか行政相談キャンペーン」期間です。相談は無料で秘密は守られますのでお気軽にご相談ください。

就職活動プログラム

『ホンキの就職』を実施

会津地域若者サポートステーションでは、6月中旬～下旬にかけて、前向きに就職活動に向かっていくためのプログラム、『ホ

ンキの就職』を実施します。

就職に必要な知識を身に付け、面接練習を通して「自己PR」や「志望動機」

を伝えるコツを学び、応募に活かしてみませんか。お申込みは6月9日(月)までです。定員になり次第、締め切りとなりますので、お早目にお申込みください。

『ホンキの就職』
株式会社リクルート
ホールディングスよりプログラムの提供を受けて実施するものです。

○対象者：就職活動に向かう方
○参加費：無料
○日時：6月16、19、23、26日の4日間
13:00～17:30

○実施場所：
みとみ学園本校
2階セミナールーム

○問い合わせ先
会津地域若者サポートステーション(月～金曜
日午前10時～午後7時
土曜日 午前10時～午
後4時)

☎ (0242)
320011

Eメール
info@job-sapo.com

320011

info@job-sapo.com

町長の手帳

町長スケジュール (4月分)

- 1日 役場辞令交付式、南会津会辞令交付式、会津ただみ振興公社辞令交付式、観光まちづくり協会辞令交付式、只見川電源流域振興協議会辞令交付式
- 3日 只見町消防団長辞令交付式
- 3日 只見町議会全員協議会、平出たかお県議会議長就任祝賀会(会津若松市)
- 5日 ふくしまプレDC・あいづ食の陣オープニングセレモニー(会津若松市)
- 6日 杉山純一県議 幹事長就任祝賀会(会津若松市)
- 7日 朝日小学校入学式、只見中学校入学式
- 8日 県立只見高校入学式、山村教育留学生対面式
- 9日 町内教育関係者懇談会
- 11日 只見町有害狩猟鳥獣捕獲隊編成式
- 13日 第13回春待ちチャリティー演芸会
- 16日 会津ふるさと市町村圏協議会監査
- 17日 只見町納税貯蓄組合連合会総会
- 18日 只見町議会4月会議
- 20日 明和自治振興会第3回代議員会
- 23日 JR只見線復興復旧寄付金の県知事への寄付(福島市)
- 24日 町政報告会、区長連絡協議会懇親会
- 25日 奥会津アドベンチャーファイナルPR活動(福島市)、全国町村会長との意見交換会、福島県町村会役員会・意見交換会(福島市)
- 26日 明和駐在所開所式
- 28日 南会津地方広域圏組合管理者会、南会津会評議員会・理事会(南会津町)、労働組合統一要求書回答
- 30日 只見町健全育成町民会議総会

いらかの波と
雲の波
重なる波の
中空を
たちばなかおる
朝風に
高く泳ぐや
鯉のぼり
この季節は日に日に景色が変わります。雪解け水を集めた川の流は早く、

岸辺の柳が青くなり始めたと思えばこぶしが咲き、桜の蕾もまだ小さいと思っているとすぐに咲き誇ります。ブナもいよいよ青くなり、春一番のフキノトウ、福寿草、カタクリの花そして山菜の季節と移ってゆく様子は本当に楽しいものです。いつもより雪が少ない今年こそは連休前の4月中に六十里越峠の開通になるかと期待しましたが、県境付近は雪が深く残念なことに実現しませんでした。

4月から5月にかけての自然の営みは本当に美しく、生命力に満ち溢れ私達の体内にも力が漲ります。今の季節、もうひとつ私達の目を楽しませてくれるのが、風光る中を泳ぐ鯉のぼりです。5月の節句を待ちきれずにあげられる家族の想いと、喜ぶ子供の姿が目浮かびます。生命の芽生えが絶えることなく繰り返される自然界のように、毎年この季節に鯉のぼりが天高く舞うようにと願いながら町づくりに取り組んでいく意を新たにするところです。

只見町長 目黒 吉久

町民の消息

(4月1日～4月30日届出分) 敬称略

■お誕生おめでとうございます

酒井 優真 (男/修・あゆみ) 舘ノ川

■ご結婚おめでとうございます

樋戸 横山 剛嗣 ♡ 南会津町 馬場 美沙子

■おくやみ申し上げます

神林 トヨ子	91歳	小	林
三瓶 高子	87歳	大	倉
酒井 聖雄	82歳	福	井
五十嵐 繁	87歳	長	浜
小沼 マサエ	81歳	長	浜
橋川 のり	43歳	小	林

人のうごき

平成26年4月1日現在

人口	4,578(-58)
男	2,221(-33)
女	2,357(-25)
世帯数	1,798(-11)
高齢化率	43.1%

※高齢化率とは、65歳以上の人が人口に占める割合です。

転入 26 転出 81 出生 2 死亡 5

▽桜が満開を迎える時期は全国的には4月がほとんどだと思いますが、只見ではゴールデンウィーク頃は桜は満開を迎えます。▽年度始めである4月は、入所式・入学式で子供たちは新たな生活をスタートさせ、大人も社会人として新たな一歩を踏み出すなど、多くの年代が慌ただしく過ごす時期です。この時期に桜をゆつくりと見ている時間はあまりなく、むしろ少し落ち着いたゴールデンウィーク頃に満開になる只見の桜は、じっくりと見る事が出来るので自分はこの時期に咲く桜が好きです。(吉津)

あとがき

- 1、ゆたかな緑ときれいな水をまもり美しい町をつくりましょう
- 1、互いに助け合い親切をつくし楽しい町をつくりましょう
- 1、産業をおこしみんなで働ける豊かな町をつくりましょう
- 1、教養を深め心と体をきたえ文化の町をつくりましょう
- 1、きまりを守り良い風習を育て住みよい町をつくりましょう



生涯学習推進員
湯田 千穂

明和振興センター
図書室 ☎86-2111

おすすめ新着図書

★『村上海賊の娘上巻・下巻』



和田竜著(新潮社)

『のぼうの城』から六年。四年間をこの一作だけに注ぎ込んだ、2014年本屋大賞受賞作品! 和睦が崩れ、信長に攻められる大坂本願寺。毛利は海路からの支援を乞われるが、成否は「海賊王」と呼ばれた村上武吉の帰趨にかかっていた。折しも、娘の景は上乗りで難波へむかう。家の存続を占って寝返りも辞さない緊張の続くなか、度肝を抜く戦いの幕が切って落とされる! 第一次木津川合戦の史実に基づく一大巨篇です。

★『ルルとララのカップケーキ』



あんびるやすこ作・絵
(岩崎書店)

ひとり読みを楽しむ年齢層が、簡単に作れるレシピを入れながらも、全体は物語が中心。魔女商会シリーズで人気のある「あんびるやすこさん」が、低学年向きに書きました。イラストも毎頁に入り、約半分がカラーページです。お話だけを楽しむ、絵を楽しむなど、楽しみ方はもりだくさんです。心が温かくなる優しいお話です。

★その他、別棟、図書室(旧支所)にもたくさん本を置いております、利用時間は午前9時から午後4時までです。(土日祝日は閉館)ぜひご利用下さい。リクエストも随時受付しています。

カタクリ (学名: *Erythronium japonicum*)

[ユリ科 カタクリ属]



〈蒲生岳登山口 カタクリ公園〉



〈つぼみの付いた二葉と片葉〉

カタクリは、北海道、本州、四国、九州に分布するユリ科の多年草で“スプリング・エフェメラル”と呼ばれる春植物の一つで只見の春を代表する花の一つでもあります。エフェメラルとは、「短命なもの・儚いもの」という意味で、花が終わり種子を作ると葉も無くなり、翌春まで見ることが出来ないところからきています。

種子には“エライオソーム”と呼ばれる蟻の蛹に似た匂いを出す物質が付着しているため、蟻は蛹と間違えて巣に運びいれてしまいます。蟻をだまして効率よく種まきをしているようです。

しかし、カタクリが、発芽から花を咲かせるまでには、7～8年ほどの長い時間がかかります。1年目の芽は、糸のように細く肉眼で見つけるのはなかなか大変です。2枚の葉を付けるようになると花を咲かせますが、それまでは1枚の葉で過ごします。

芽吹き前の落葉広葉樹林や山間部の日当たりのよい斜面、林縁などで、他の植物が繁る前に葉を展開し花を咲かせます。只見町では“カタバ”と呼ばれ、道路脇など町内のいたるところでその姿が見られます。蒲生岳登山口の栗林では大群落を形成しており、赤紫のお花畑が広がります。花期は、雪解けが進む4月下旬から5月下旬頃までです。

企画展

「絶滅危惧種 ヒメサユリのすべて」

4月26日(土)から6月30日(月)まで開催

プラセンター講座

6月21日(土) 13:30～15:00

「只見地域のヒメサユリの分布と生態」

講師:大曾根陽子さん(首都大学東京・客員研究員)

自然観察会

6月22日(日) 10:00～12:00

「開花中のヒメサユリの自生地を訪ねる」

場所:只見町塩沢地区(予定)

詳しくは、
只見町プラセンター
までお問い合わせ
ください